

観光・交流の状況の全体像

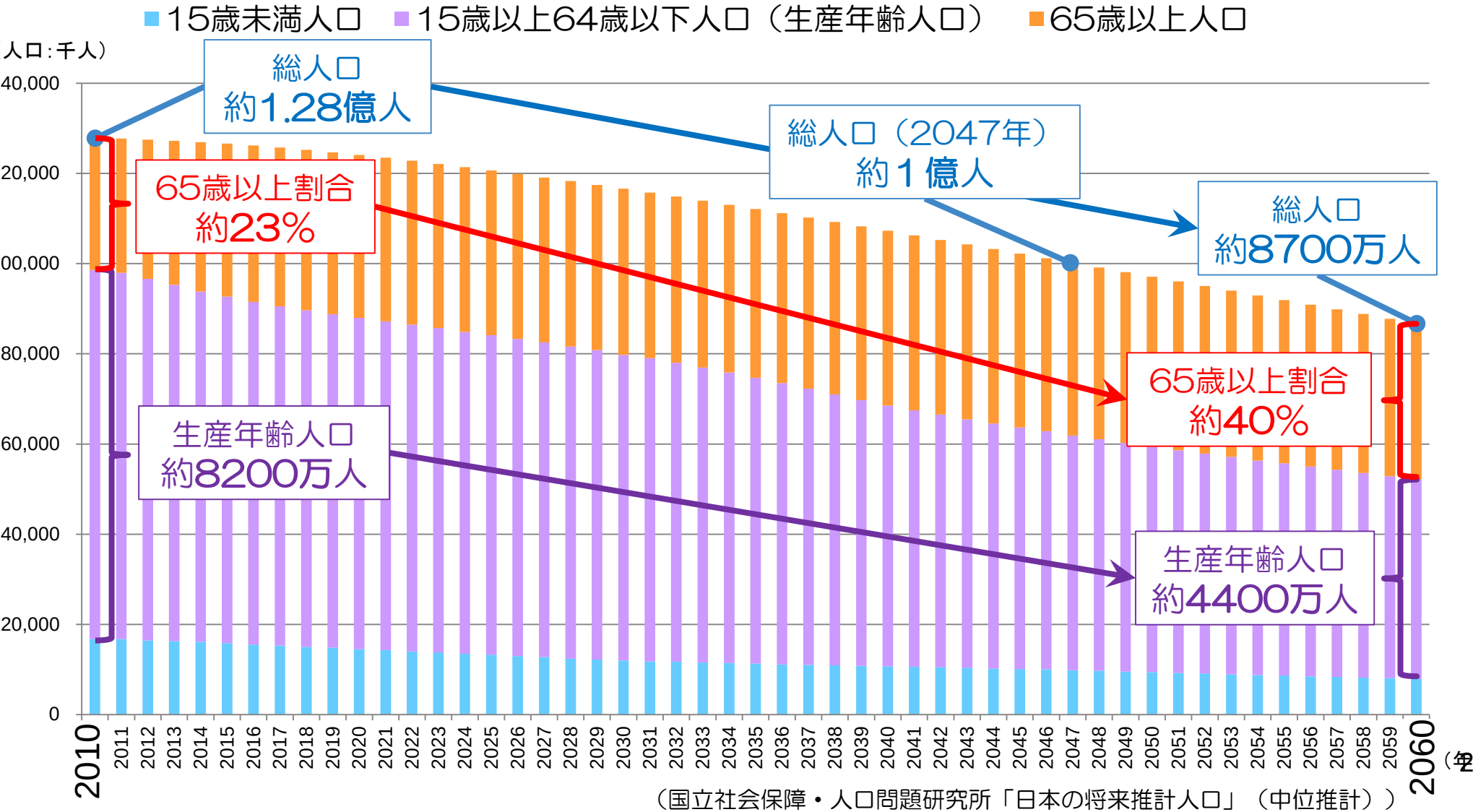
平成29年12月15日

観光庁

1. 観光の現状

日本の人口減少・少子高齢化の推移・予測

- 今後、人口減少が進み、2047年には1億人程度となる見通し。
- 少子高齢化が急速に進行しており、2060年には総人口の約40%が65歳以上になる見通し。
- それにより、生産年齢人口は現在の2060年には現在の半分近くまで減少。



観光交流人口増大の経済効果(2015年)

○定住人口1人当たりの年間消費額(125万円)は、旅行者の消費に換算すると外国人旅行者8人分、国内旅行者(宿泊)25人分、国内旅行者(日帰り)80人分にあたる。

定住人口=1億2,711万人
1人当たり年間消費額=125万円

旅行消費額

訪日外国人旅行3.5兆円

国内旅行(海外分除く)20.4兆円

うち宿泊旅行 15.8兆円
うち日帰り旅行 4.6兆円

訪日外国人旅行者

1,974万人

国内旅行者(宿泊+日帰り)

6億0,472万人 <延べ人数>

うち宿泊 3億2,199万人
うち日帰り 2億9,173万人

+

1人1回当たり消費額
17万6,167円

1人1回当たり消費額
宿泊 5万0,520円
日帰り 1万5,758円

減少

定住人口1人減少分

拡大

外国人旅行者8人分

又は

国内旅行者(宿泊)25人分

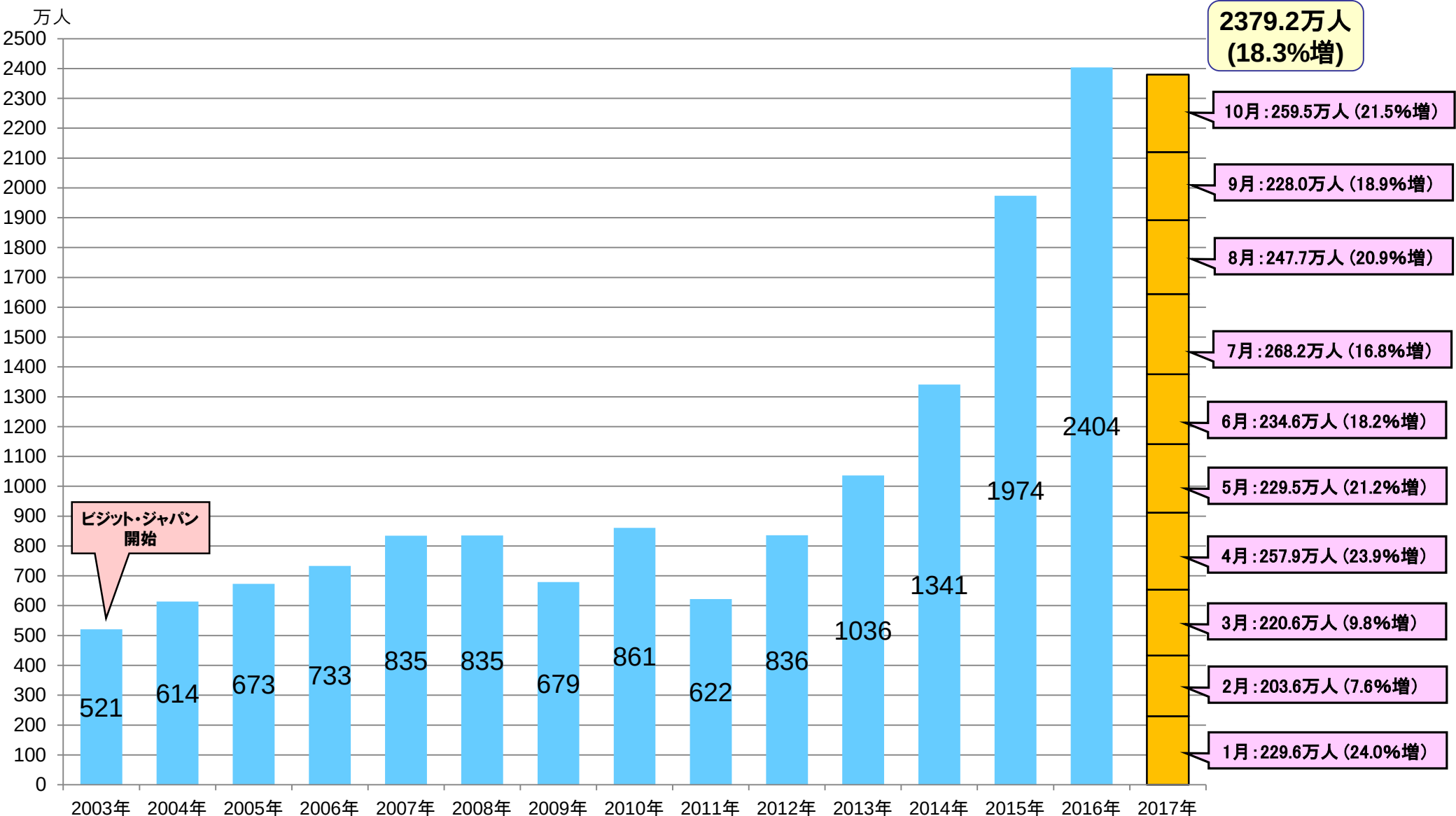
又は

国内旅行者(日帰り)80人分

定住人口は2015年国勢調査 人口速報集計結果(総務省)、定住人口1人当たり年間消費額は2015年家計調査(総務省)による。
旅行消費額の訪日外国人旅行は訪日外国人消費動向調査(2015年)より算出、国内旅行は旅行・観光消費動向調査(2015年)より算出。
訪日外国人旅行者はJNTO(2015年)発表数値、国内旅行者は旅行・観光消費動向調査(2015年)より算出。

訪日外国人旅行者1人1回当たり消費額は訪日外国人消費動向調査(2015年)、国内旅行者(宿泊/日帰り)1人1回当たり消費額は旅行・観光消費動向調査(2015年)より算出。
定住人口1人減少分に相当する旅行者人数は、定住人口1人当たり年間消費額を訪日外国人旅行者又は国内旅行者1人1回当たり消費額で除したもの。(※観光庁資料)

訪日外国人旅行者数の推移



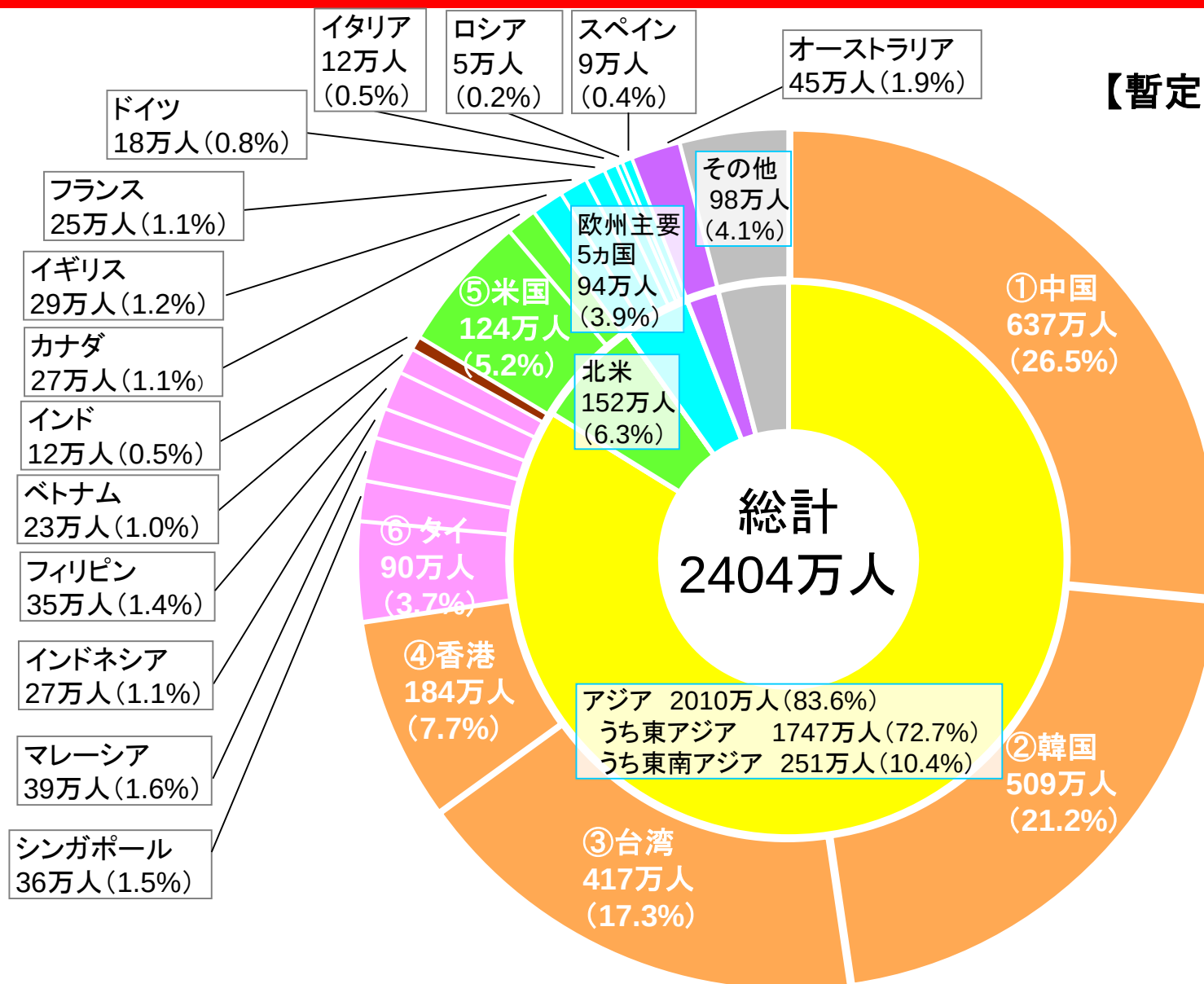
【お問い合わせ先】
観光庁国際観光課 三島、中橋
(代表) 03-5253-8111(内線27402, 27519) (直通) 03-5253-8324

注) 2016年の値は確定値、2017年1～8月の値は暫定値、2017年9～10月の値は推計値、%は対前年同月比

出典: JNTO(日本政府観光局)

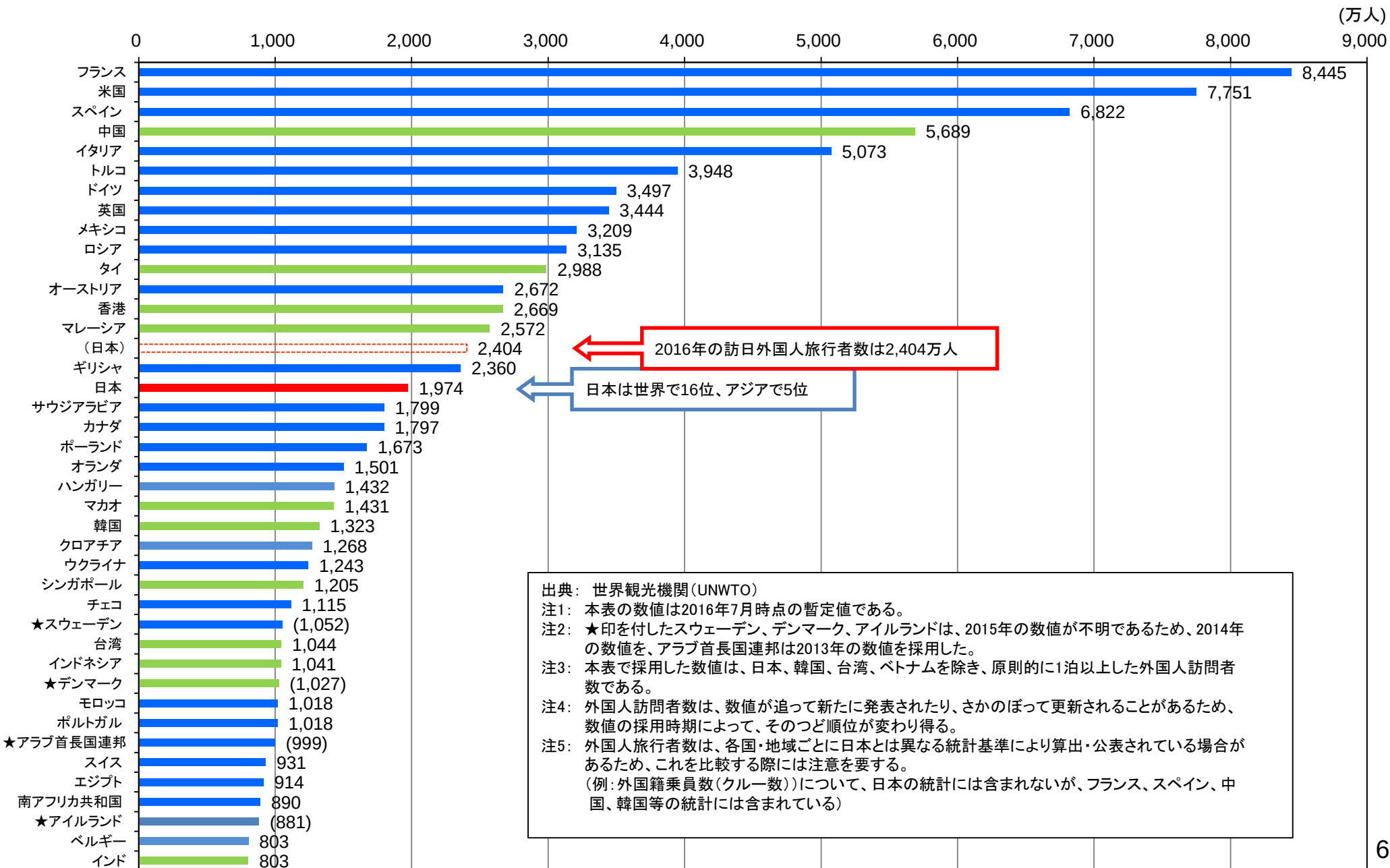
2016年の訪日外国人旅行者数及び割合(国・地域別)

【暫定値】



※ ()内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア
 ※ その他には、アジア、欧州等各地域の国であっても記載のない国・地域が含まれる。
 ※ 数値は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。
 ※ 日本政府観光局(JNTO)資料より観光庁作成

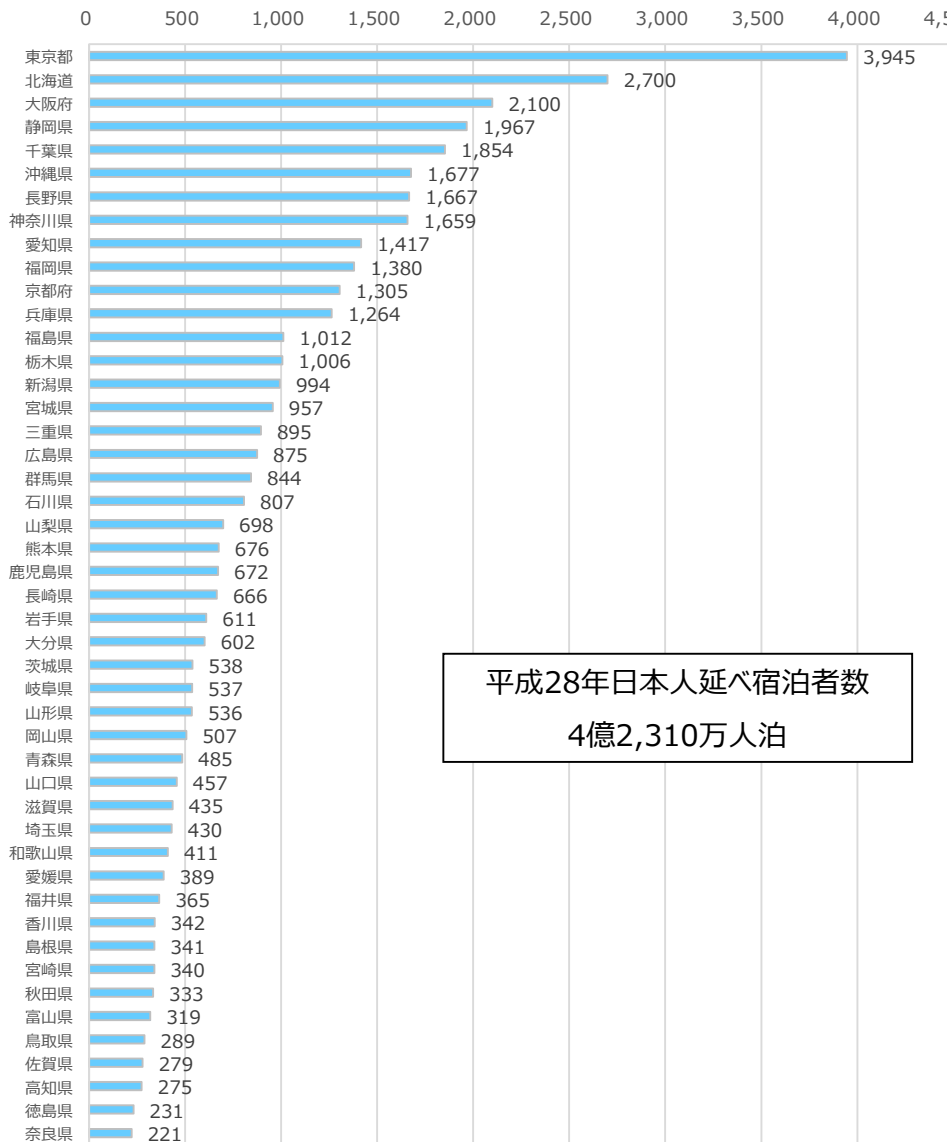
外国人旅行者受入者数ランキング (2015年)



都道府県別日本人・外国人延べ宿泊者数（平成28年）

都道府県別 日本人延べ宿泊者数

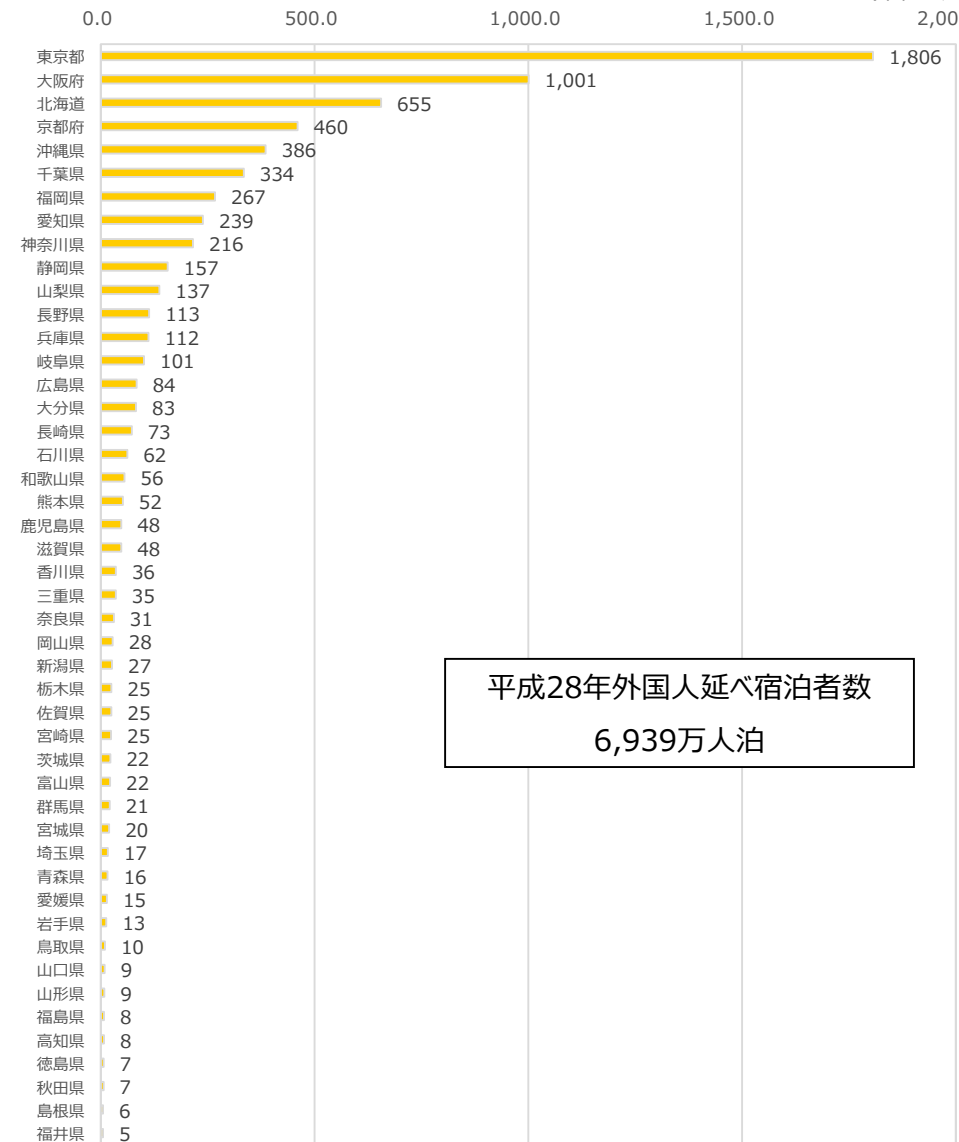
（単位：万人泊）



平成28年日本人延べ宿泊者数
4億2,310万人泊

都道府県別 外国人延べ宿泊者数

（単位：万人泊）



平成28年外国人延べ宿泊者数
6,939万人泊

外国人旅行者が好む我が国の訪問先

○ 外国人が好む観光地としては、東京、京都・奈良、富士山などのいわゆる「ゴールデンルート」に集中しているが、徐々に地方の観光地も人気が高まっている。



原爆ドーム・厳島神社
(広島県)

古都京都の文化財
(伏見稲荷大社、清水寺、金閣寺)

地獄谷野猿公苑
(長野県山ノ内町)



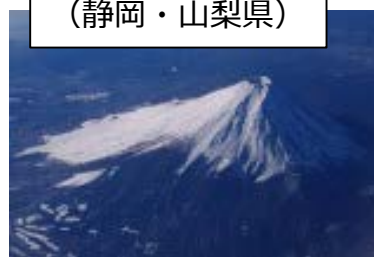
沖縄美ら海水族館
(沖縄県)

東大寺
(奈良市)



ゴールデンルート

富士山
(静岡・山梨県)

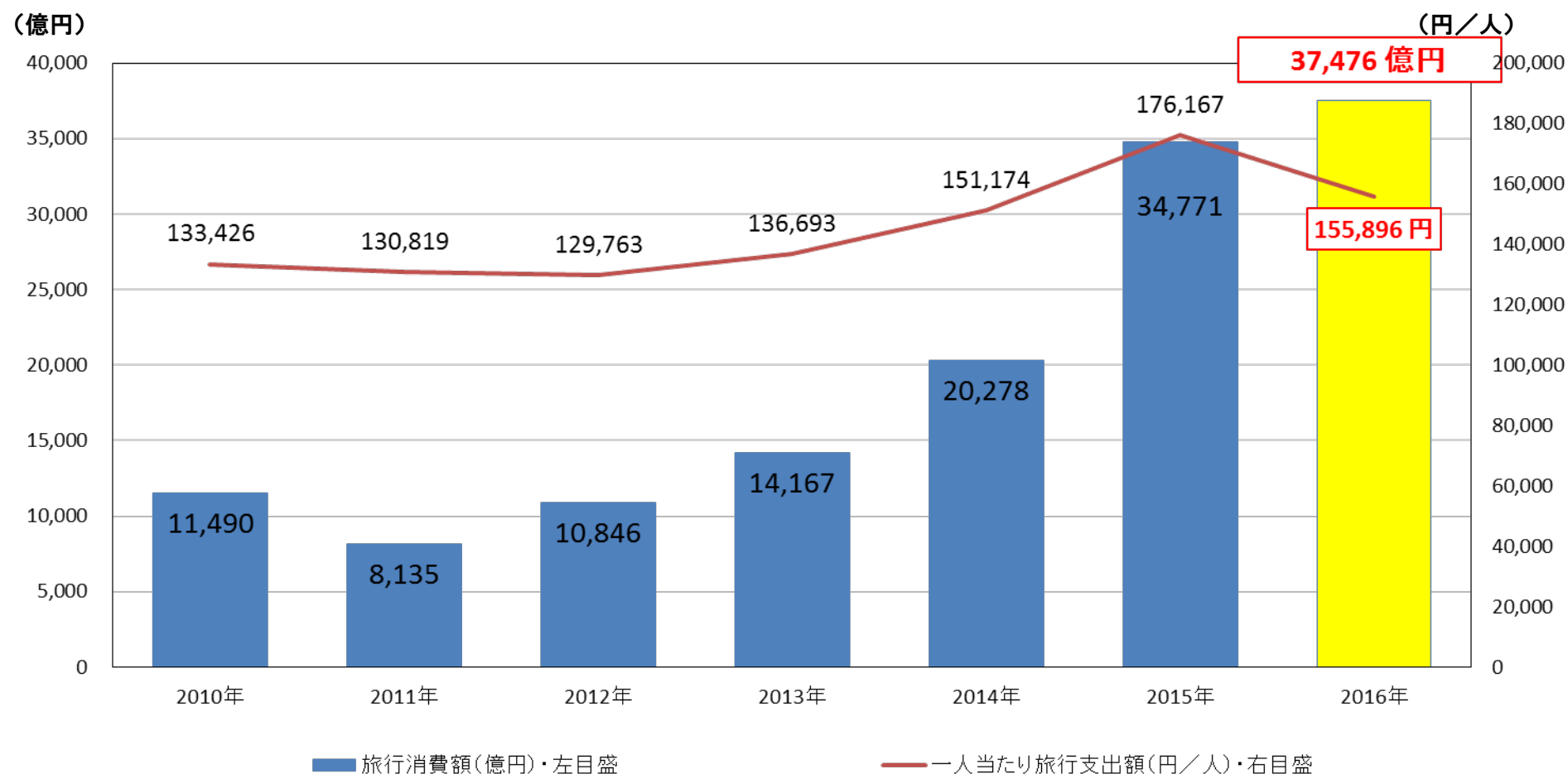


渋谷スクランブル交差点・浅草
(東京都)

訪日外国人旅行消費額の推移

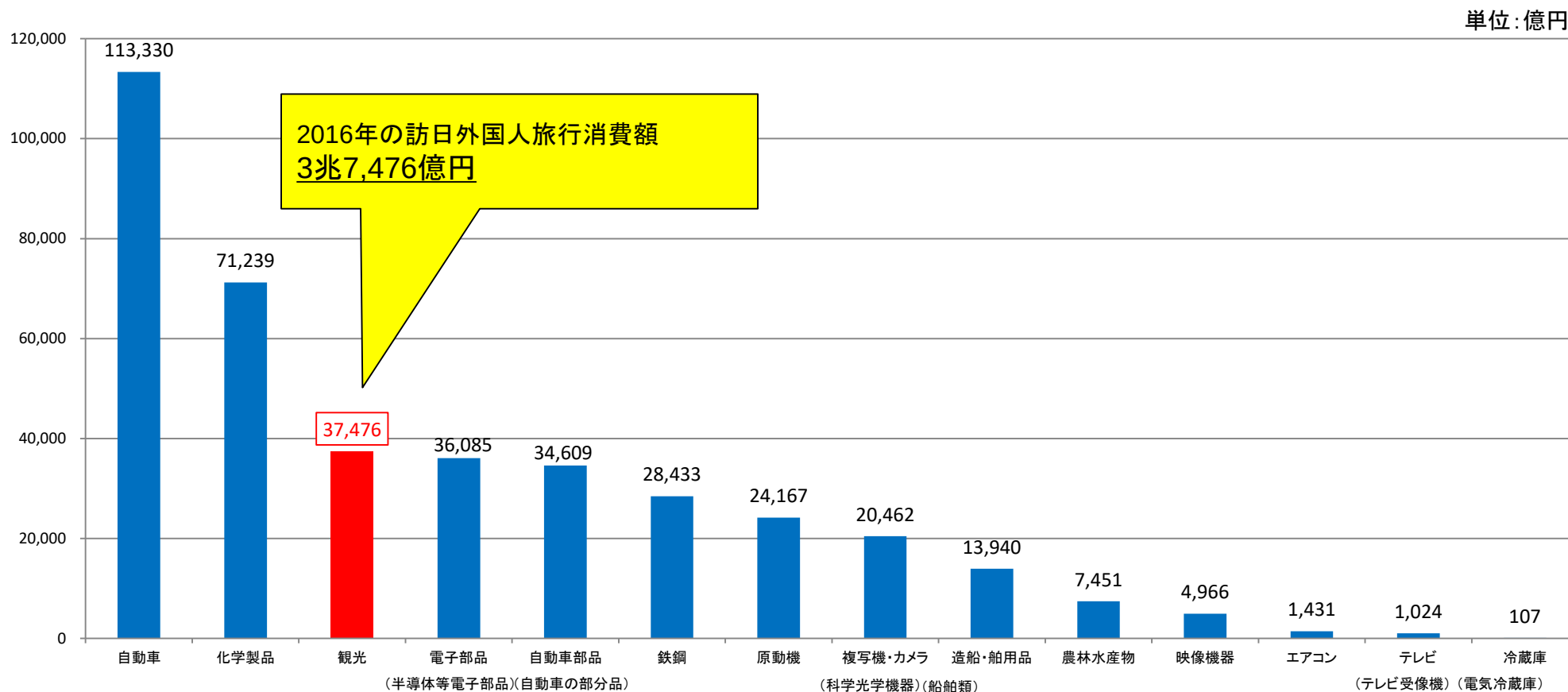
- 2016年の訪日外国人旅行消費額は、前年比7.8%増の3兆7,476億円となり、過去最高となった。
- 1人当たり旅行支出は前年比11.5%減の15万5,896円となった。

旅行消費額の推移



訪日外国人旅行消費額の製品別輸出額との比較(2016年)

○ 2016年の訪日外国人旅行消費額は3兆7,476億円で、電子部品の輸出額を超える水準となっている。



※観光、造船・舶用品、農林水産物、エアコン、冷蔵庫以外の各製品の金額は貿易統計(財務省)速報より算出。

※造船・舶用品、農林水産物、エアコン、冷蔵庫以外の金額は2016年の速報値。

※エアコン、冷蔵庫は2015年の確報値で、貿易統計(財務省)より算出。

※造船・舶用品の金額は2014年の確報値で、海事局データより算出。

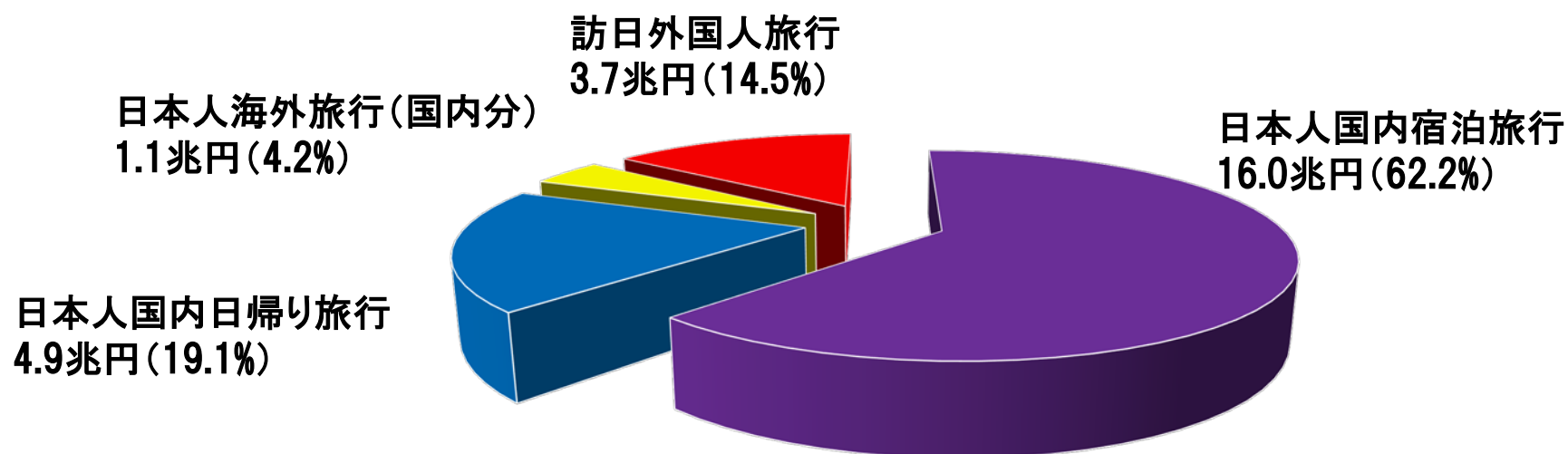
※農林水産物の金額は農林水産省公表値で、2015年の確報値。

※映像機器にはテレビの輸出額を含む。

※カッコ内に記載の品名は、貿易統計における品名を示す。

国内における旅行消費額(平成28年)

25.8兆円



観光庁「旅行・観光消費動向調査」、「訪日外国人消費動向調査」より算出

旅行消費額の推移について(2010～2016年)

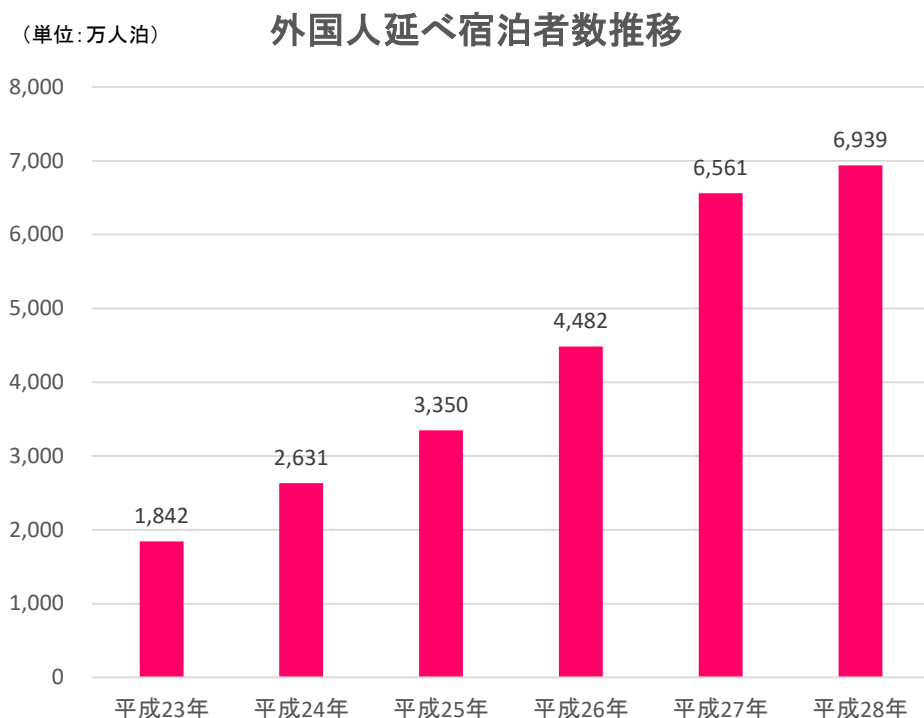
単位: 兆円

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
日本人国内宿泊旅行	15.4	14.8	15.0	15.4	13.9	15.8	16.0
日本人国内日帰り旅行	5.1	5.0	4.4	4.8	4.5	4.6	4.9
日本人海外旅行(国内分)	1.1	1.2	1.3	1.2	1.1	1.0	1.1
訪日外国人旅行	1.1	0.8	1.1	1.4	2.0	3.5	3.7
合計	22.7	21.8	21.8	22.8	21.6	24.8	25.8

宿泊旅行統計調査(平成28年・年間値)について

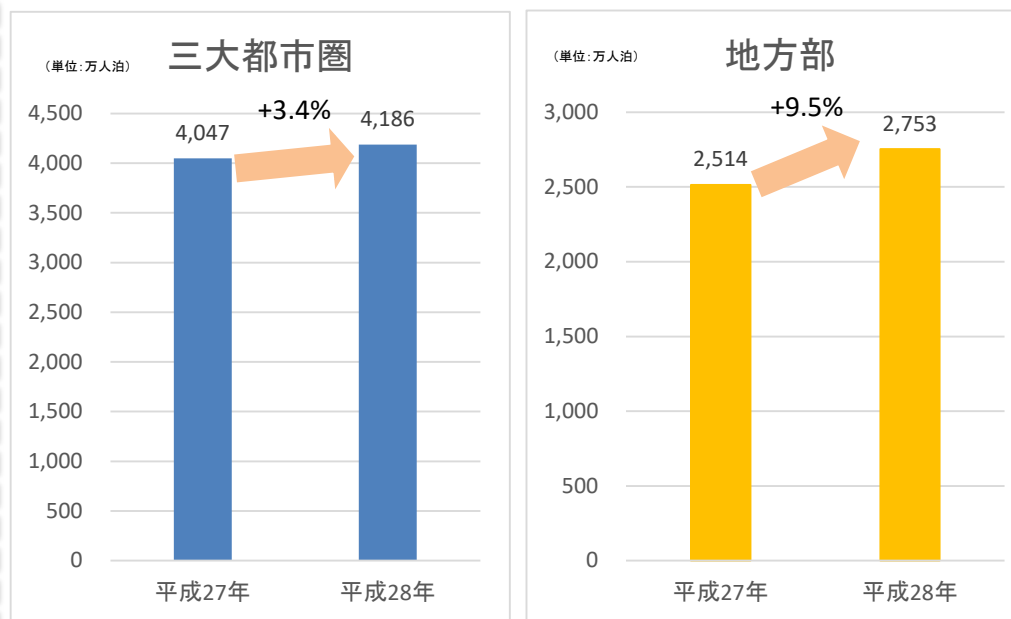
◇ 延べ宿泊者数

- 延べ宿泊者数(全体)は、4億9,249万人泊(前年比-2.3%)
- 日本人延べ宿泊者数は、4億2,310万人泊(同-3.5%)、外国人延べ宿泊者数は、6,939万人泊(同+5.8%)



◇ 三大都市圏及び地方部における外国人延べ宿泊者数比較

- 平成28年における三大都市圏と地方部(※)の外国人延べ宿泊者数の対前年比を比較すると、三大都市圏で+3.4%、地方部で+9.5%と、地方部の伸びが三大都市圏の伸びを上回った。
- 都道府県別では、香川県(+70.3%)、岡山県(+65.3%)等の伸び率が高かった。



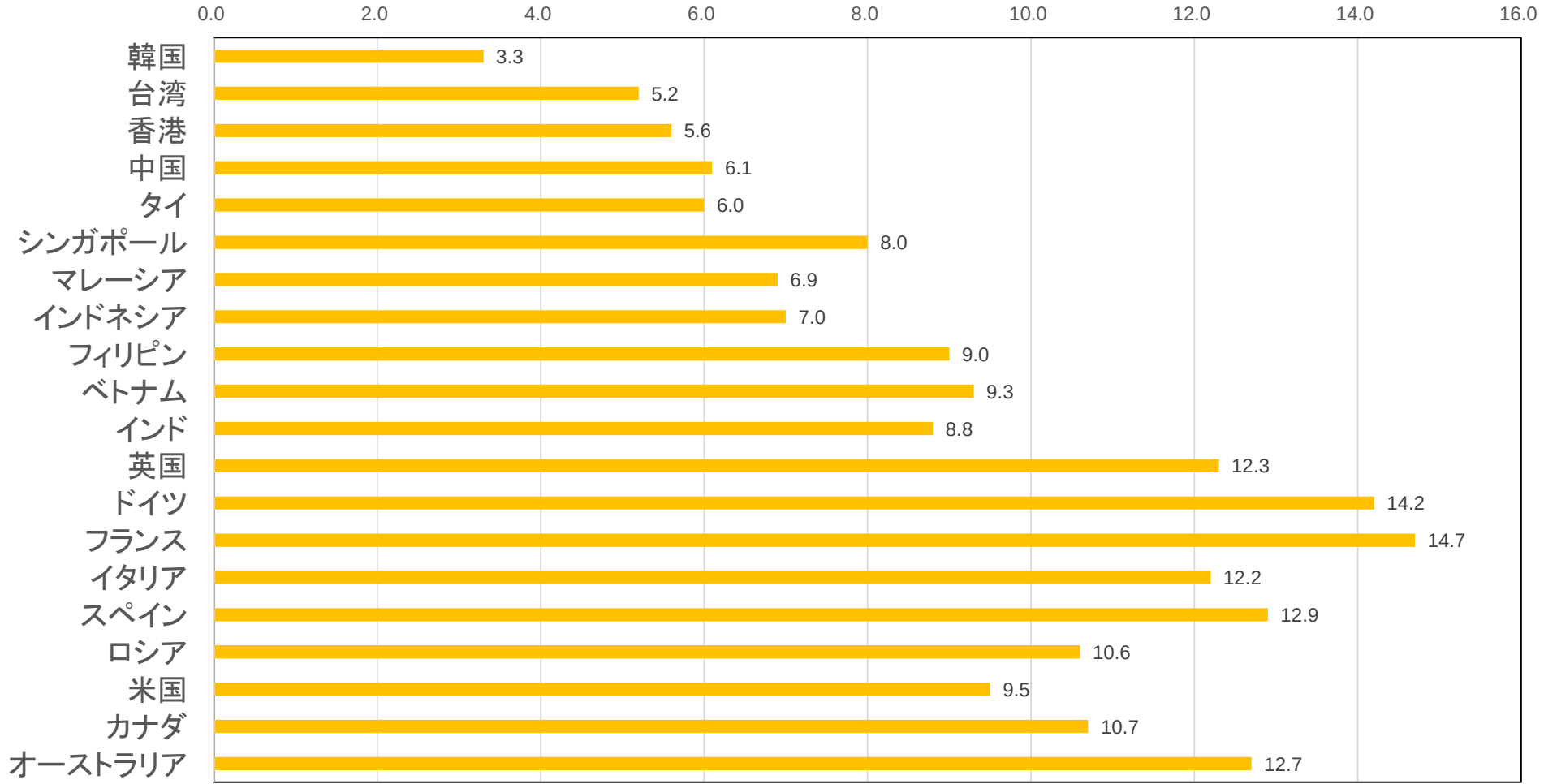
※) 三大都市圏とは、「東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫」の8都府県をいう。地方部とは、三大都市圏以外の道県をいう。

国によって異なる日本での宿泊日数

○ アジアからの訪日外国人は、滞在期間が短い傾向がある。
 一方、ヨーロッパなどの遠方からの訪日外国人は、滞在期間が長い傾向にあり、その分、日本国内での行動も変わってくるものと想定される。

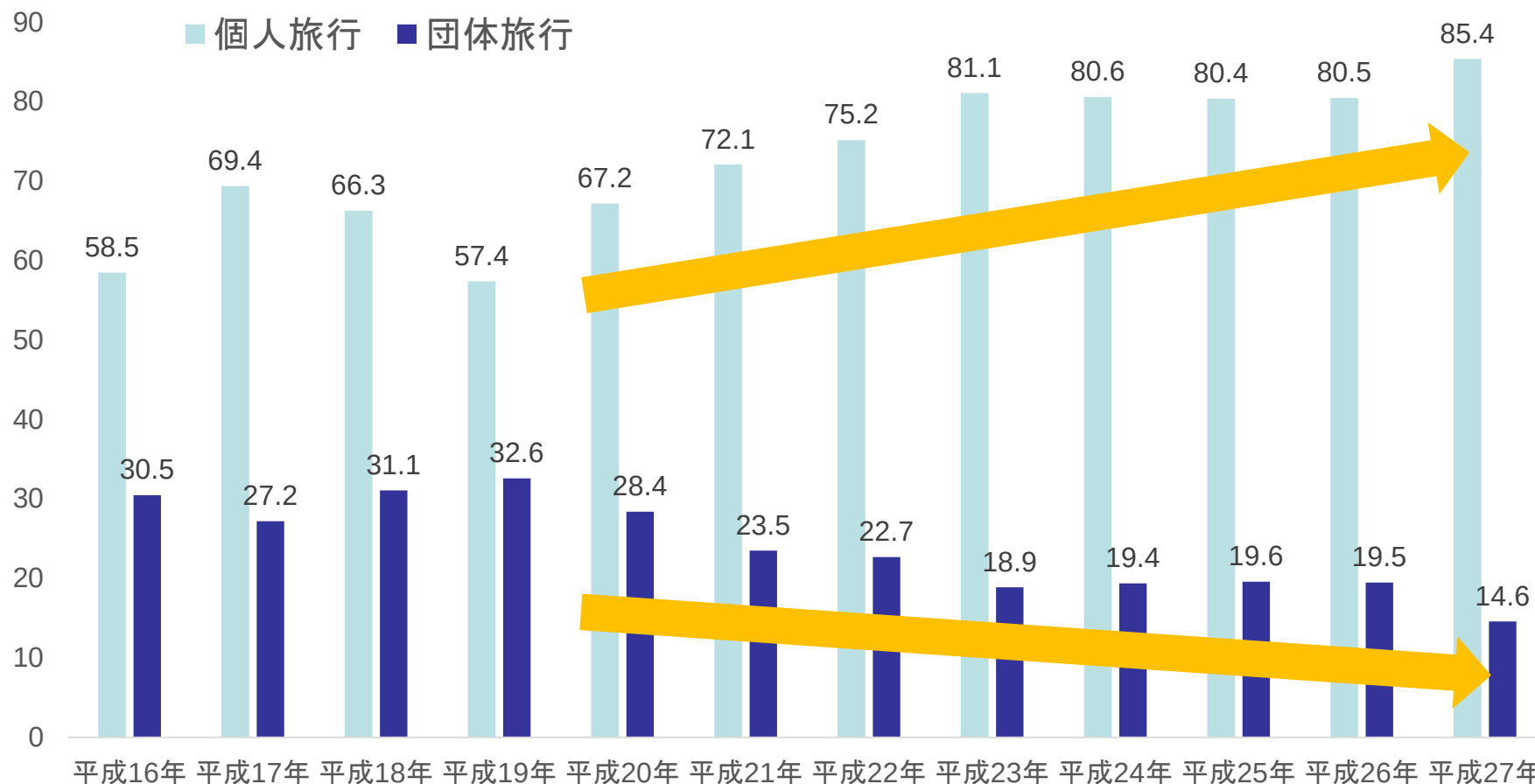
観光・レジャー目的による訪日外国人の国別の平均宿泊数

(単位：泊)



(参考)日本人の個人旅行の状況

個人旅行及び団体旅行の割合の推移



出典：日本観光振興協会
「平成28年度版 観光の実態と志向」

※個人旅行の割合については、「募集团体」が募集する旅行に参加しない人のうち、「自分ひとり、家族、友人・知人、家族と友人・知人」で旅行した人の割合を表す

※団体旅行の割合については、「募集团体旅行に参加した」人及び「募集团体旅行に参加しない」人のうち「職場・学校・地域・宗教・招待などの団体」での旅行に参加した人の割合を表す

2. 明日の日本を支える観光ビジョン

「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」について

明日の日本を支える観光ビジョン構想会議

訪日外国人旅行者数2000万人の目標達成が視野に入ってきたことを踏まえ、次の時代の新たな目標の設定とそのために必要な対応の検討を実施。

【議長】 内閣総理大臣
 【副議長】 内閣官房長官、国土交通大臣
 【構成員】 副総理兼財務大臣、地方創生担当大臣、一億総活躍担当大臣、総務大臣、法務大臣、外務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣
 (民間有識者)
 石井 至 石井兄弟社(旅行ガイド出版社)社長
 井上 慎一 Peach Aviation(株)代表取締役CEO
 大西 雅之 鶴雅グループ代表
 小田 真弓 旅館 加賀屋 女将
 唐池 恒二 九州旅客鉄道(株)会長
 デービッド・アトキンソン 小西美術工藝社社長
 李 容淑 大阪国際大学客員教授



〈議長：安倍内閣総理大臣〉

明日の日本を支える観光ビジョン構想会議 ワーキンググループ

【座長】 内閣官房長官
 【座長代理】 国土交通大臣
 【構成員】 内閣官房副長官、内閣総理大臣補佐官
 内閣官房副長官補、関係省庁局長 等



〈座長：菅内閣官房長官〉

昨年3月30日 「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定

安倍内閣3年間の成果

戦略的なビザ緩和、免税制度の拡充、出入国管理体制の充実、航空ネットワーク拡大など、**大胆な「改革」**を断行。

	(2012年)	(2015年)
・ <u>訪日外国人旅行者数</u> は、 <u>2倍増</u> の <u>約2000万人</u> に	836万人	⇒ 1974万人
・ <u>訪日外国人旅行消費額</u> は、 <u>3倍増</u> の <u>約3.5兆円</u> に	1兆846億円	⇒ 3兆4771億円

新たな目標への挑戦！

訪日外国人旅行者数

2020年：	<u>4,000万人</u> (2015年の約2倍)	2030年：	<u>6,000万人</u> (2015年の約3倍)
--------	-------------------------------	--------	-------------------------------

訪日外国人旅行消費額

2020年：	<u>8兆円</u> (2015年の2倍超)	2030年：	<u>15兆円</u> (2015年の4倍超)
--------	---------------------------	--------	----------------------------

地方部での外国人延べ宿泊者数

2020年：	<u>7,000万人泊</u> (2015年の3倍弱)	2030年：	<u>1億3,000万人泊</u> (2015年の5倍超)
--------	--------------------------------	--------	----------------------------------

外国人リピーター数

2020年：	<u>2,400万人</u> (2015年の約2倍)	2030年：	<u>3,600万人</u> (2015年の約3倍)
--------	-------------------------------	--------	-------------------------------

日本人国内旅行消費額

2020年：	<u>21兆円</u> (最近5年間の平均から約5%増)	2030年：	<u>22兆円</u> (最近5年間の平均から約10%増)
--------	---------------------------------	--------	----------------------------------

「明日の日本を支える観光ビジョン」概要

これまでの議論を踏まえた課題

平成28年3月30日策定

■我が国の豊富で多様な観光資源を、誇りを持って磨き上げ、その価値を日本人にも外国人にも分かりやすく伝えていくことが必要。

■観光の力で、地域の雇用を生み出し、人を育て、国際競争力のある生産性の高い観光産業へと変革していくことが必要。

■CIQや宿泊施設、通信・交通・決済など、受入環境整備を早急に進めることが必要。
■高齢者や障がい者なども含めた、すべての旅行者が「旅の喜び」を実感できるような社会を築いていくことが必要。

「観光先進国」への「3つの視点」と「10の改革」

視点 1

「観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に」

- 「魅力ある公的施設」を、ひろく国民、そして世界に開放
 - ・赤坂や京都の迎賓館などを大胆に公開・開放
- 「文化財」を、「保存優先」から観光客目線での「理解促進」、そして「活用」へ
 - ・2020年までに、文化財を核とする観光拠点を全国で200整備、わかりやすい多言語解説など1000事業を展開し、集中的に支援強化
- 「国立公園」を、世界水準の「ナショナルパーク」へ
 - ・2020年を目標に、全国5箇所の公園について民間の力も活かし、体験・活用型の空間へと集中改善
- おもな観光地で「景観計画」をつくり、美しい街並みへ
 - ・2020年を目途に、原則として全都道府県・全国の半数の市区町村で「景観計画」を策定

視点 2

「観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に」

- 古い規制を見直し、生産性を大切にする観光産業へ
 - ・60年以上経過した規制・制度の抜本見直し、トップレベルの経営人材育成、民泊ルールの整備、宿泊業の生産性向上など、総合パッケージで推進・支援
- あたらしい市場を開拓し、長期滞在と消費拡大を同時に実現
 - ・欧州・米国・豪州や富裕層などをターゲットにしたプロモーション、戦略的なビザ緩和などを実施
 - ・MICE誘致・開催の支援体制を抜本的に改善
 - ・首都圏におけるビジネスジェットの受入環境改善
- 疲弊した温泉街や地方都市を、未来発想の経営で再生・活性化
 - ・2020年までに、世界水準DMOを全国100形成
 - ・観光地再生・活性化ファンド、規制緩和などを駆使し、民間の力を最大限活用した安定的・継続的な「観光まちづくり」を実現

視点 3

「すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に」

- ソフトインフラを飛躍的に改善し、世界一快適な滞在を実現
 - ・世界最高水準の技術活用により、出入国審査の風景を一変
 - ・ストレスフリーな通信・交通利用環境を実現
 - ・キャッシュレス観光を実現
- 「地方創生回廊」を完備し、全国どこへでも快適な旅行を実現
 - ・「ジャパン・レールパス」を訪日後でも購入可能化
 - ・新幹線開業やコンセクション空港運営等と連動した、観光地へのアクセス交通充実の実現
- 「働きかた」と「休みかた」を改革し、躍動感あふれる社会を実現
 - ・2020年までに、年次有給休暇取得率70%へ向上
 - ・家族が休暇をとりやすい制度の導入、休暇取得の分散化による観光需要の平準化

視点 1 観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に ①

1. 公的施設

「**魅力ある公的施設**」を、ひろく国民、そして世界に**開放**

－「技」の粋がつくされた日本ならではの空間を世界に－

赤坂迎賓館

2016年4月19日から**一般公開**を
通年で実施。

京都迎賓館

2016年4月28日～5月9日に試験
公開を実施した上で、7月21日
から**一般公開**を**通年**で実施。

ホーフブルク王宮（オーストリア）

王宮内は、観光施設として日中見学が可能。一部を
レセプション会場等の利用向けに、一般開放。



王宮全景



宮殿内

2. 文化財

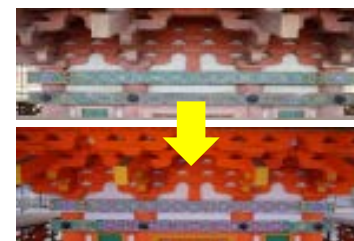
「**文化財**」を、「保存優先」から
観光客目線での「**理解促進**」、そして「**活用**」へ

－「とっておいた文化財」を「とっておきの文化財」に－

2020年までに、文化財を核とする**観光拠点**を
全国で**200整備**、わかりやすい多言語解説など
1000事業を展開し、集中的に支援強化。



観光拠点の面的整備
(福島県大内宿の茅葺き民家群)



修復整備の拡充と美装化
(清水寺三重塔の美装化)



わかりやすい多言語解説
(日光東照宮新宝物館)



結婚式場等への活用
(西日本工業倶楽部会館)

3. 国立公園

「国立公園」を、
世界水準の「ナショナルパーク」へ

ー世界中から休日をすごしにくる上質感あふれる空間にー



2020年を目標に、全国5箇所（※1）の公園について、保護すべき区域と観光活用する区域を明確化し、民間の力も活かし、体験・活用型の空間へと集中改善。（※1）7月25日に8箇所の候補を選定

イエローストーン国立公園（米国）

観光客が豊かな自然を体験するための施設やプログラムを提供。運営費の一部は、入場料やコンセション料で充当。



野生動物を間近で観察



専門家によるガイドツアー



ビジターセンターでの旅行案内



魅力的なホテル

4. 景観

おもな観光地で「景観計画」をつくり、
美しい街並みへ

ーひと目見れば忘れない、ひと目見ただけで場所がわかる景観にー



2020年を目途に、原則として全都道府県・全国の半数の市区町村で、「景観計画」を策定。国が専門家チームを地域派遣し、取組を徹底サポート。

（※）2015年9月末時点で、20都道府県、472市町村で景観計画を策定済み

京都市

歴史的建造物の保全や景観法規制に加え、屋外広告物の適正化や地域協議会活動など、総合的な取組を展開。



屋外広告物の適正化が進んだ四条大通
（2007年 → 2015年）

国立公園満喫プロジェクト8公園での取組

慶良間諸島国立公園

美ら海慶良間 ～リトリート・海と島と人がつくるケラマブルーの世界～

保全活動への参加体験や入島時の環境協力税の活用による魅力の向上

- ▶ 入島時に環境協力税の徴収（H29より検討開始）
- ▶ 阿嘉島の養殖施設で育てたサンゴによる自然再生活動の体験



阿蘇くじゅう国立公園

復興の大地 ～草原のかほり、火山の呼吸。人が継ぎ、風と遊ぶ感動の大地～

人の手で引き継がれてきた草原空間を核としたフィールドミュージアム構想を基本とし、**利用料負担金による草原再生**を検討するとともに、火山と草原が作り出す雄大な景観を味わえる体験を提供

- ▶ フィールドミュージアム拠点施設整備の検討（H29より検討開始）
- ▶ 野焼き、放牧などの継続支援や、利用者負担導入検討による草原再生（H29より検討開始）
- ▶ ホーストレッキング等、草原景観を楽しむ新たなアクティビティの開発
- ▶ 絶景の中を走る道路を活かしたサイクリング・ツーリングコース設定やイベント開催



霧島錦江湾国立公園

多様な火山とその恵み、
壮大な歴史と神話に彩られた霧島・錦江湾
～まるごと楽しむ南九州の自然・文化・食～

歴史と神話に彩られた火山景観を体感できる多様なツアープログラム開発や多様な多様な景観の温泉を外国人旅行者も楽しめるよう再整備を検討。
上質なホテルの誘致も行い、各地域を長期的に満喫できる滞在型観光へ

- ▶ 登山と神話をミックスさせたツアープログラムの開発
- ▶ 天然温泉掘り・桜島ナイトツアーなど既存プログラムの磨き上げの検討
- ▶ 外国人旅行者が利用しやすい個室露天風呂などに再整備を検討
- ▶ 上質なホテルやグランピング施設の誘致（H29より着手）



大山隠岐国立公園

日本の大地の成り立ちが刻まれ、
神話・信仰が息づく山・島・海
～山から海まで多彩な自然の恵みを楽しむ～

公共施設の民間開放など民間活力を活用し、トレッキングや自然・文化体験など様々なアクティビティを手づから楽しめる総合利用拠点を整備

- ▶ 官民連携により、ツアーデスクやロッカー・更衣室の設置、登山用品の貸出、廃屋撤去や空家の活用によるカフェや土産物店などの誘致（H28年度より着手）
- ▶ キャンプ場再整備と民間事業者によるグランピング等の誘致



阿寒国立公園

火山と森と湖が織りなす原生的な自然を堪能する

自然の保護を大前提とした**新たなアプローチ**によるアクティビティ、**上質で心地よい滞在空間の創出**、アイヌ文化の体感などの推進により原生的な自然の世界を堪能

- ▶ 阿寒湖のマリモ観察ガイドツアー
聖地「釧路川」でのカヌーツアー
- ▶ 眺望を楽しめる場所へのカフェの併設
富裕層をターゲットとした宿泊施設の誘致（H28年度より着手）
- ▶ アイヌの思想・精神に沿ったプログラム



十和田八幡平国立公園

みちのくの青葉 ～原生林が彩る静謐の湖水、息づく火山と奥山の湯治場～

原生自然を堪能する多彩な登山道、昔ながらの趣ある温泉文化を楽しむ。
売屋などの景観を阻害する施設を撤去する**“引き算”の景観改善**により、魅力的な利用拠点到リニューアル

- ▶ ロングトレイル等の多彩な登山道整備
- ▶ 温泉・秘湯・湯治場での外国人旅行者の受入態勢の強化
- ▶ 休屋休平地、見返峠の廃屋撤去、魅力的な利用拠点として、総合的再整備（H28年度より着手）



日光国立公園

NIKKO is NIPPON
自然・歴史・文化 美しい「日本」を感じられる
東京圏のプレミアムリゾート

上質なホテルの進出も見据えつつ、世界文化遺産「日光の社寺」、旧大使館別荘、ロイヤルリゾート「那須高原」など日本の歴史・文化を堪能できるよう、**公共施設を民間開放**

- ▶ 那須平成の森フィールドセンターへ、皇族が親しんだ那須の自然を感じながらゆったり休めるカフェスペースの併設など
- ▶ ラグジュアリーホテルの進出などを見据え、富裕層を含む幅広い層を受け入れる環境整備や、旧大使館別荘の活用を検討（H29より検討開始）
- ▶ 外国人にも対応できるプレミアムなツアーのためのガイド育成システムの構築（H29より着手）



伊勢志摩国立公園

悠久の歴史を刻む伊勢神宮
人々の営みと自然が織りなす里山里海

リアス式海岸の地形と人々の営みがあわせてつくりだす優美な里山里海の景観を望む展望台に**民間カフェを導入**し、ゆっくりと快適な時間を創出

- ▶ 英虞湾を望みゆったりとくつろぐ“天空カフェテラス”の整備（H29より着手）



5. 観光産業

古い規制を見直し、生産性を大切にする観光産業へ

規制・制度の抜本見直し（通訳案内士、ランドオペレーター、旅行業など）、**トップレベルの経営人材育成、民泊ルールを整備、宿泊業の生産性向上**など、総合パッケージで推進・支援。

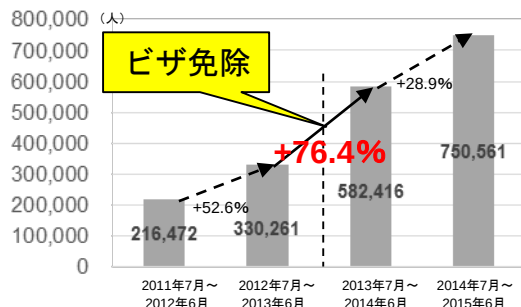
6. 市場開拓

**あたらしい市場を開拓し、
長期滞在と消費拡大を同時に実現**

欧米豪や富裕層などをターゲットにしたプロモーション、戦略的ビザ緩和、MICE誘致支援、首都圏のビジネスジェット受入環境改善などを推進。

ビザ緩和による効果

タイからの訪日数（ビザ免除：2013年7月1日）



今後のビザ緩和
対象5ヶ国

- ・中国
- ・フィリピン
- ・ベトナム
- ・インド
- ・ロシア

7. 観光地経営

**疲弊した温泉街や地方都市を、
未来発想の経営で再生・活性化**

2020年までに世界水準DMOを全国で100形成。
観光地再生・活性化ファンド、規制緩和などを
駆使し、民間の力を最大限活用した安定的・継続
的な「観光まちづくり」を実現。

湯田中温泉（長野県山之内町）

湯田中温泉街の再生事業に対し、地域経済活性化支援機構（REVIC）と地元金融機関とが、ファンドにより投融資。



湯田中温泉



廃業した旅館や飲食店舗をリノベーション



8. 滞在環境

ソフトインフラを飛躍的に改善し、世界一快適な滞在を実現

世界最高水準の技術活用により**出入国審査の風景を一変させるほか、ストレスフリーな通信・交通利用環境、キャッシュレス観光、ユニバーサルデザイン**などを実現。

9. 地方交流

「地方創生回廊」を完備し、全国どこへでも快適な旅行を実現

－隅から隅まで日本の旅を楽しめるように－

「**ジャパン・レールパス**」を訪日後でも購入可能化。
また、**新幹線開業**や**コンセプション空港運営**等と連動した、**観光地へのアクセス交通の充実**を実現。



北海道新幹線の開業



複数空港の一体運営（新千歳）

10. 休暇

「働きかた」と「休みかた」を改革し、躍動感あふれる社会を実現

－国民一人ひとりが「仕事も」「休日も」楽しめるように－

2020年までに、**年次有給休暇取得率70%に向上**。
また、**家族が休暇をとりやすい制度の導入、休暇取得の分散化**による観光需要の平準化などを推進。

家族の時間づくり（熊本県人吉市）

地域の伝統的な祭り開催日に、市内の全小・中学校を休業日とし、地元企業への有給休暇取得を働きかけ。



おくんち祭り



地域協議会の様子

3. 古民家等の歴史的資源の活用について

歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進について

目指す効果

- ✓ 地域に眠っている資産である古民家等の歴史的建築物を宿泊施設、レストランなど地域再生の核となる観光資源として活用する取組による、内外からの旅行者の増加、交流人口の拡大
- ✓ 地域の雇用の創出、UIターンの若者の増加、出生率の向上、定住人口の増加、耕作放棄地の解消 等

これまでの検討の概要

○政府は、昨年9月に「歴史的資源を活用した観光まちづくりタスクフォース」（議長：内閣官房長官）を立ち上げ、各地域で古民家等を観光資源とし、再生、活用する民間有識者の方々からヒアリングを行い、それらを踏まえ、昨年末に同会議において、課題と対応策、さらに今後の検討の方向性について、中間とりまとめを実施

中間とりまとめで示された課題

- 人材：意欲・ノウハウのある人材を必要とする地域につなげるネットワークやワンストップの相談体制が必要
- 自治体との連携・情報発信：地域の取組を成功させるには、**地方自治体が民間に協力する体制が重要**
- 金融・公的支援：事業立上げの資金確保が困難。公的支援とともに地域金融機関、公的金融機関等の投融資機能の最大化が必要
- 規制・制度改革：古民家等の活用の促進に資する、建築基準法、旅館業法、消防法等の運用の統一化、基準の見直し等が必要

中間とりまとめで示された対応策

- 今後は、政府に、1月中に、意欲ある地域を官民一体でワンセットで支援する体制を整備し、地域からの具体的なご相談にオーダーメイドで対応

2020年までに全国200地域での取組を目指す！

「歴史的資源を活用した観光まちづくりタスクフォース」について

歴史的資源を活用した観光まちづくりタスクフォース

明日の日本を支える観光ビジョンに基づき、農山漁村を含めた地方に広く存在する古民家等を活用した魅力ある観光まちづくりを推進。

1. 検討事項

- (1) 農山漁村を含む地域の古民家等の活用・再生事例の収集・比較
- (2) 成功の要因と課題の抽出
- (3) 具体的な支援策を含む全国展開方策の検討
等

2. 今後のスケジュール（予定）

- 9月 5日：第1回開催（有識者ヒアリング）
- 10月18日：第2回開催（有識者ヒアリング）
- 11月14日：第3回開催（有識者ヒアリング、検討課題の整理）
- 12月21日：第4回開催 中間とりまとめ、支援のあり方等を整理
- 1月30日：歴史的資源を活用した官民連携推進チーム（連携推進室、専門家会議）発足
- 5月18日：第5回開催（とりまとめ）

【議長】内閣官房長官
【議長代理】国土交通大臣
【副議長】内閣府特命担当大臣（地方創生担当）、農林水産大臣
【構成員】内閣官房副長官（政務・事務）
内閣総理大臣補佐官（地方創生担当）
内閣官房副長官補（内政担当）
内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）
内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）兼観光庁次長
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部地方創生総括官補
金融庁監督局長
総務省大臣官房総括審議官
消防庁次長
文化庁次長
厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長
農林水産省農村振興局長
経済産業省商務情報政策局長
国土交通省都市局長
国土交通省住宅局長
観光庁長官



集落丸山（篠山市）



多様なニーズへの対応



歴史的資源を活用した観光まちづくり（兵庫県篠山市の取組）

概要

- 一般社団法人ノオトが、古民家の再生等により、**魅力的な城下町の街並みを実現**するとともに、**限界集落や農村地域の再生に大きく貢献**。

取組内容のポイント

○空家活用と地域再生

ノオトが40軒を超える古民家の再生を行うとともに、**起業家や事業者を誘致し、多くのホテル、レストラン、カフェ、工房などが立ち並び、魅力的な城下町等の街並みを実現。20名以上の移住者、50名近くの雇用を創出。**



モダンに改修された古民家ホテル
「NIPPONIA」



篠山城下町の歴史的街並み



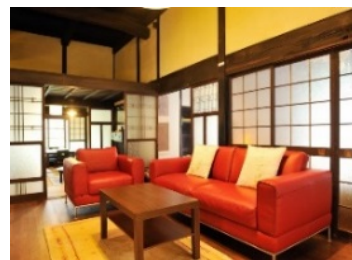
○丸山集落の再生

ノオトが人口19人で限界集落と言われていた篠山の丸山地区において、空き家となっていた**古民家を改修した宿泊施設「集落丸山」を開業**。

2.1haあった集落の耕作放棄地を解消するとともに、4人が集落にUターンするなど、観光を通じた地方創生に大きく寄与。



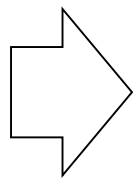
集落丸山



多様なニーズへの対応



Before



After



歴史的資源を活用した観光まちづくり（広島県尾道市の取組）

概要

- NPO法人尾道空き家再生プロジェクトが、**江戸時代、北前船で栄華を極めた港町である尾道**に存在する**100軒ほどの空き家の再生**にかかわり、地元に雇用を生み出している。

取組内容のポイント

○尾道の町並みと空き家問題

尾道は、江戸時代、北前船で栄華を極めた港であるが、現在では車中心の町づくりが進められ、古い港町としての面影を失いつつあり、駅から2キロ圏内の町の中心に**500軒以上の空き家**が点在していた。



港町尾道の町並み



尾道に点在する空き家



ガウディハウス



尾道ゲストハウス みはらし亭

○空き家の再生

NPO代表の豊田雅子氏が、空き家を取り壊しから救えないかと2000年ごろから活動を始め、「尾道市空き家バンク」を2009年に事業受託。**100軒ほどの空き家の再生にかかわり、150人以上の移住者が尾道にやってくるなど、空き家再生を通じた地方創生に大きく寄与。**



尾道ゲストハウス あなごのねどこ



150人以上の移住者を生み出した

最近の取組事例

ありた

有田町（佐賀県）での取組

○ブランド力の強い「有田焼」を軸に、町内の「食」・「芸術」・「窯元」・「自然」といったコンテンツを、インターネットを通じて魅力を発信するとともに、古民家を改装した物販店舗での有田焼の販売を計画中。



○このための資金調達・ファンド作りのために、クラウドファンディング会社、まちづくり会社、コンサルティング会社、金融機関とで連携協定を平成29年10月に締結予定。

さわら

佐原（千葉県）での取組

○千葉県香取市の佐原地区（重伝建）は、江戸を彷彿とさせる商屋群が特徴。地域金融機関等の出資により観光ファンドを立ち上げ、古民家4棟を取得した。



○同行は、古民家を宿泊施設として活用する第一次エリア開発に着手。既に、専門委員と出資法人の連携協定を結び、宿泊施設オープンを間近に控えている。

おおたき

大多喜町（千葉県）での取組

○専門委員が、千葉県大多喜町での古民家再生事業を計画策定段階からサポートし、築200年の古民家を改修して宿泊施設として再生し、管理を地元住民が行い、4月から運営を開始している。

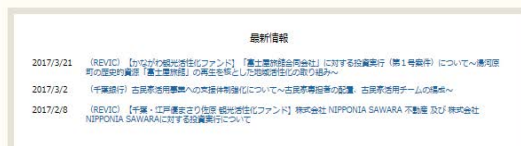


○5月に開催された古民家シンポジウムをきっかけに、専門委員と大多喜町長との関係が強化。空き家となっている古民家約50件を、飲食施設や宿泊施設として再生の上、物件情報を事業者が発信する仕組み作りを検討している。

官民連携推進チームによる情報発信

概要

官民連携推進チームの発足とともに、連携推進室のホームページを開設。
観光まちづくりの取組に資する情報をホームページにおいて公開し、周知を図っている。



<篠山の事例紹介>



HPのコンテンツ

<http://kominkasupport.jp/>

○先進事例の紹介

- ・兵庫県篠山・集落丸山の事例紹介
- ・クラウドファンディングを活用した古民家再生の事例紹介

○相談方法

- ・ホームページに相談シートを掲載し、当該シートの提出を受付
メールアドレス：kominka@mlit.go.jp

○専門家会議構成員紹介

- ・専門家会議構成員について、所属、経歴、実績等を紹介

○支援メニュー集

- ・各府省庁の補助金等の支援施策をとりまとめ、支援メニュー集として紹介

4. 最近の取組について

訪日外国人一人当たり消費額

2016年: 15.6万円  2020年: 20万円 $8兆円 \div 4,000万人$
2030年: 25万円 $15兆円 \div 6,000万人$

消費の拡大

質の高い観光

楽しい体験
プログラム

- 地域の食材を生かした食事
- 満足度の高い宿泊
- 買いたくなる土産物
- 文化財等の充実した解説
- 旅行者に優しい休憩施設・観光案内所

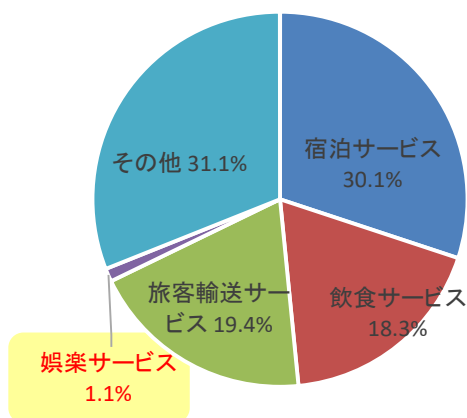
地方部へ
の誘客

滞在時間
増加

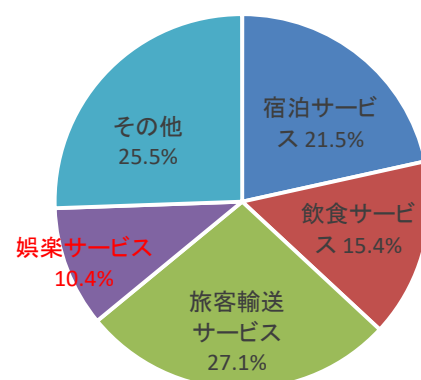
諸外国の外国人観光客の消費支出割合

諸外国の外国人観光客の消費支出割合

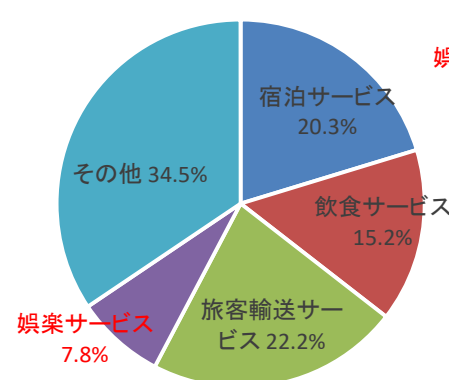
日本(2013)



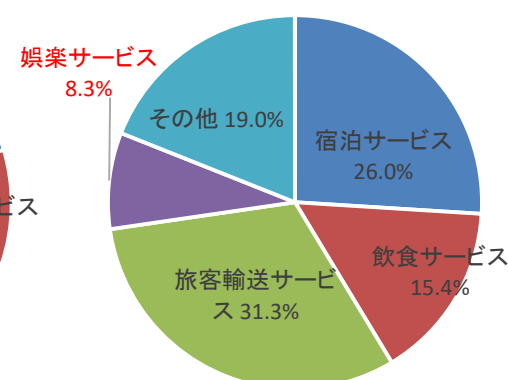
アメリカ(2012)



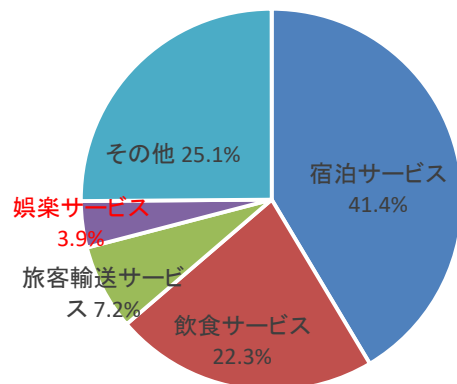
フランス(2013)



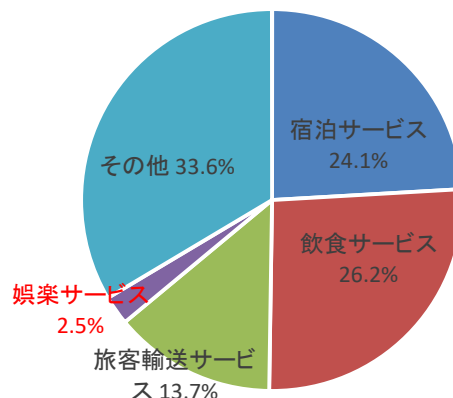
ドイツ(2010)



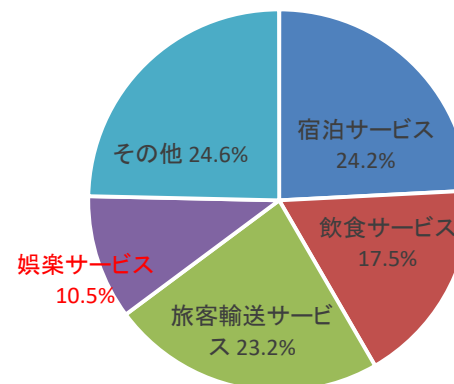
イタリア(2010)



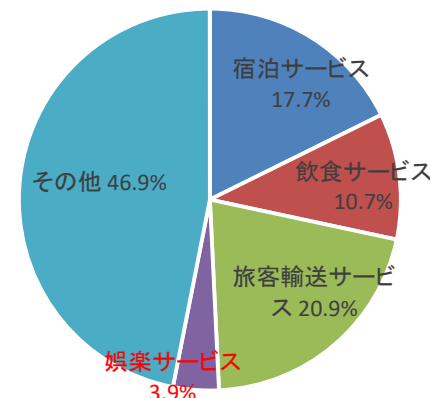
スペイン(2008)



カナダ(2014)



オーストラリア(2014)



注1：娯楽サービスは、文化サービスとスポーツ・レクリエーションサービスを合算して算出

注2：スペイン、カナダは文化サービスのみ、オーストラリアはスポーツ・レクリエーションサービスのみデータあり

出所：OECD Tourism Trends and Policies 2016 をもとに作成

鍛冶体験(岐阜県羽島の体験)

- 料金: **72,600円(2名)** 所要時間: 7時間(9am-4pm)
- 岐阜県羽島の体験。職人と作った小刀を持ち帰ることができる。
- 料金も安くはなく、アクセスも悪いが、圧倒的に評価の高い口コミで毎月50人前後予約する体験に。



相撲朝稽古見学

料金: **22,000円(2名)** 所要時間: 2時間(7:30am-9:30am)

- ・ 現役力士の朝稽古を見学するツアー。月によっては100人を超えるリクエストが入ることも。
- ・ 見学後に横綱と食べるちゃんこが特に人気。



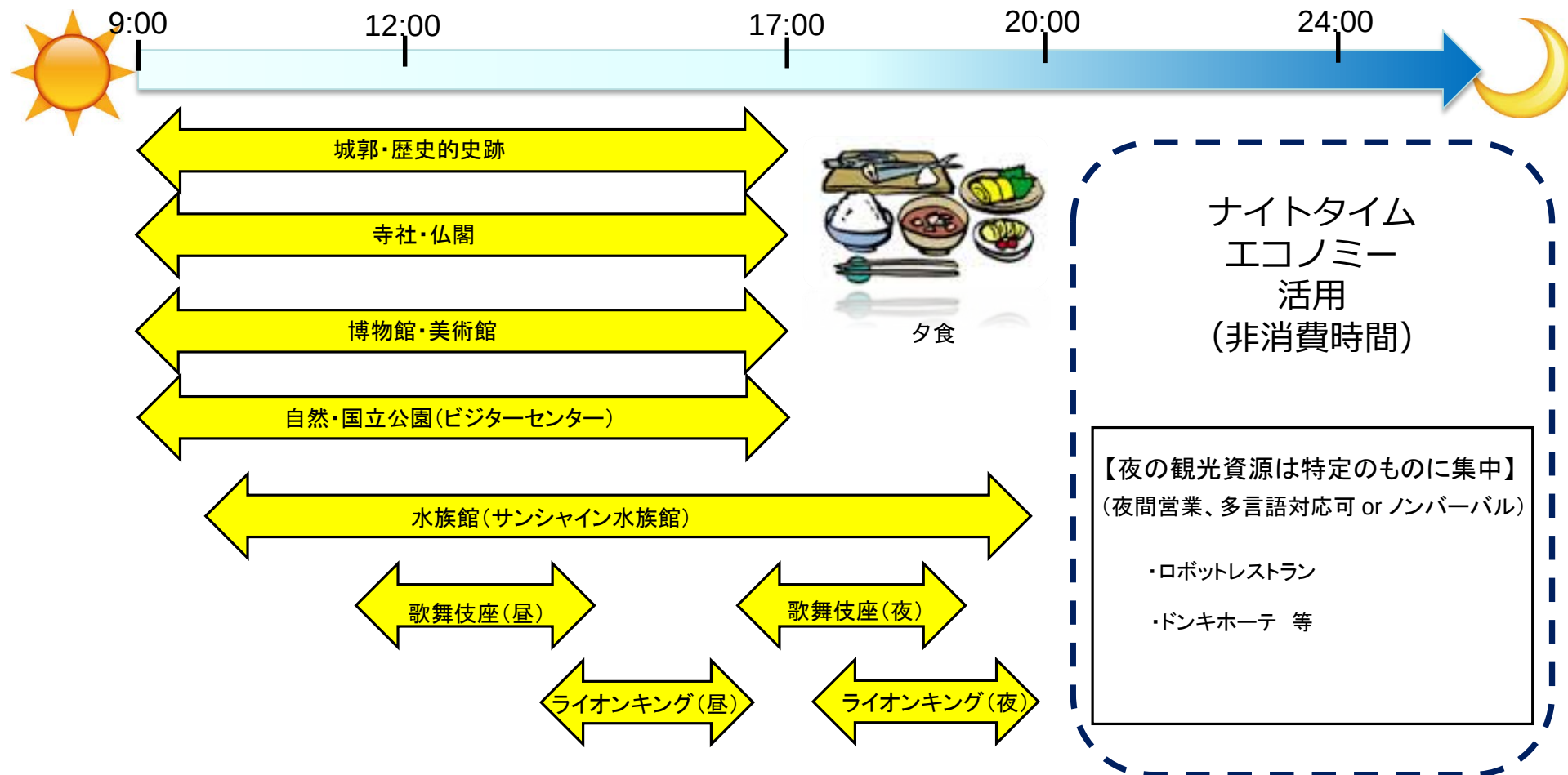
徳島阿波踊り

- ・料金: **5,000円(2名)**
- ・会場最前列の特別シート枠を、外国人専用として提供。(観光協会と協業)
- ・2017年度は約30組・90名を現地に送客。



訪日外国人の旅行消費額

訪日外国人の旅行消費 = **外国人旅行者数 × 1日当たり消費額 × 滞在日数**



日本の観光資源は昼の時間帯に集中

新たな観光消費の創出

ナイトタイムの観光資源の例

ナイトミュージアム(国立美術館・博物館)

- ・ **夜間開館の拡充**(毎週金・土は20時まで会館を延長)
- ・ 夜間開館・プレミアムフライデーと連動した、フライデーナイトミュージアム@上野を実施。



日本の伝統芸能ショー(夜間)

- ・ 寄席・落語・歌舞伎・能・狂言といった**日本の伝統芸能をショー形式で夜まで楽しめる。**



(山梨県)

工場夜景ツアー

- ・ 08年に試験的に川崎で始まった**バスで巡る工場夜景ツアー**が大ヒット。



(神奈川県 川崎市)

イルミネーション観光

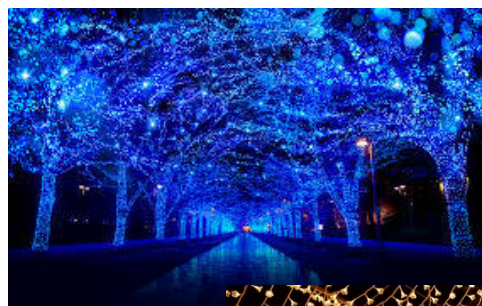
- ・ **イルミネーションは、無名の地域を観光地化**させる一方、地域経済への波及に課題。

ライトアップ

- ・ 通りや広場をイルミネーションで飾り、**昼間とは異なる自然を生みだしその景観を楽しむ**ことができる。

ナイトクラブ

- ・ 日本が弱いとされる**夜間アクティビティの充実**といった観点からも、観光業界にとって良い影響がある。



(東京都 渋谷)



(新潟県 長岡市)



(三重県桑名市)



(京都府 京都市)



NAC ニセコアドベンチャーセンター

- 所在地: 〒044-0081 北海道虻田郡倶知安町字山田179-53
- 代表者: フィンドレー・ロス・アントニー ○設 立: 1995年3月
- 事業内容:
 - ・ラフティングやダッキー、カヤック、バックカントリー、インドアクライミング等のアウトドア・インドアスポーツのガイド及び各種イベントの企画、運営。
 - ・レストラン等の飲食店業
 - ・アウトドアスポーツ用品、雑貨等の販売業
- 運営施設: NACニセコ店、札幌クライミングジム



(NACニセコ店)



(札幌クライミングジム)

◆ ラフティングプログラムの開発にはじまり、河川、森林、道路等の利用について、所有者・管理者との長期に渡る調整や許可申請を経て、お客様のニーズに合わせ、グリーンシーズンのアクティビティプログラムを開発

人気の定番アクティビティ

■ ラフティング

- ・20年以上の実績。水量変化をチェックし、安全に楽しめる



■ トレッキング

- ・羊蹄山等、季節や天候に応じてニセコ周辺のコースを案内



■ リバーサップ

- ・川用サーフボードに立ち、パドルで漕ぎながら川を下るアクティビティ



■ マウンテンバイク

- ・ニセコの景色を楽しむオフロードサイクリング



新たに開発したアクティビティ

■ アドベンチャーパーク **【NEW】**

- ・全国的に注目を集めるアドベンチャーパークが国内最大級でニセコひらふエリアに誕生。
- ・地上5～13mの木の上に設置された難易度の異なる全8コースに100ものエレメントを配置。
- ・羊蹄山へ向かってのジップラインから樹上からダイブするアクティブツリーダイビングまで迫力の高さと大自然を満喫できます。
- ・非日常の環境下で集中力を高め、チャレンジ精神を養える。



住宅宿泊事業法の概要

背景・必要性

- ここ数年、民泊サービスが日本でも急速に普及
- 多様化する宿泊ニーズや逼迫する宿泊需給への対応
- 公衆衛生の確保や地域住民等とのトラブル防止、無許可で旅館業を営む違法民泊への対応 等

概要

1. 住宅宿泊事業者に係る制度の創設

- ① 都道府県知事への届出が必要
(年間提供日数の上限は180日(泊)とし、地域の実情を反映する仕組みの創設)
- ② 家主居住型の場合は、住宅宿泊事業の適正な遂行のための措置(衛生確保措置、騒音防止のための説明、苦情への対応、宿泊者名簿の作成・備付け、標識の掲示等)を義務付け
- ③ 家主不在型の場合は、上記措置を住宅宿泊管理業者に委託することを義務付け
- ④ 都道府県知事は、住宅宿泊事業者に係る監督を実施

※ 都道府県に代わり、保健所設置市(政令市、中核市等)、特別区(東京23区)が監督(届出の受理を含む)・条例制定措置を処理できる

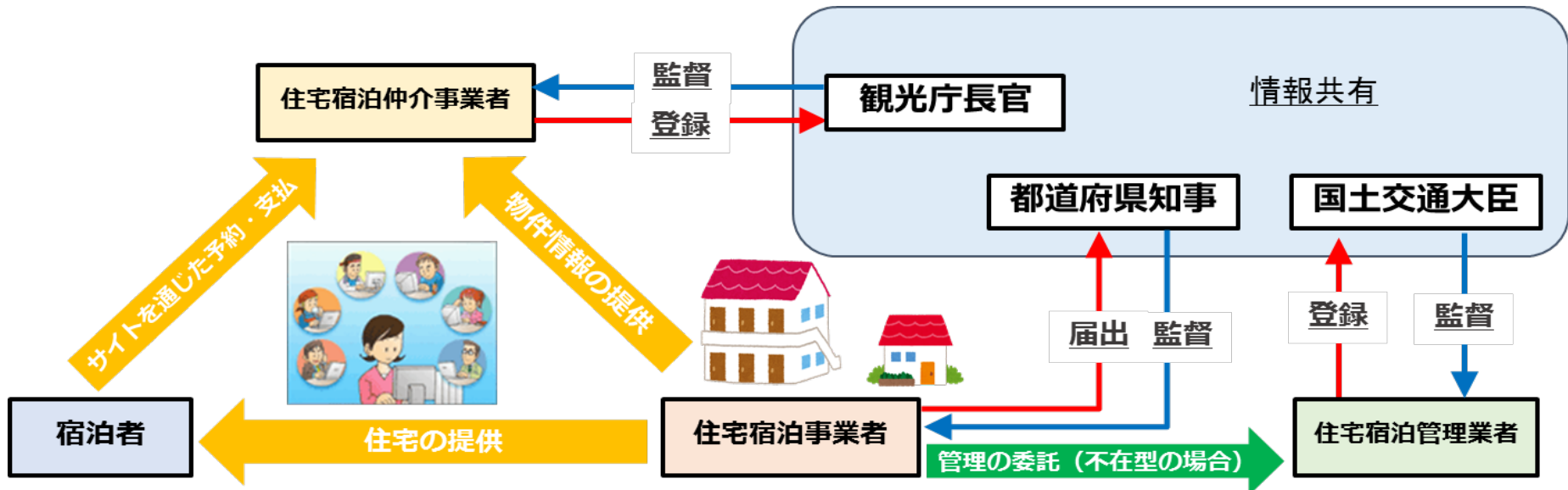
2. 住宅宿泊管理業者に係る制度の創設

- ① 国土交通大臣の登録が必要
- ② 住宅宿泊管理業の適正な遂行のための措置(住宅宿泊事業者への契約内容の説明等)の実施と1②の措置(標識の掲示を除く)の代行を義務付け
- ③ 国土交通大臣は、住宅宿泊管理業者に係る監督を実施

3. 住宅宿泊仲介業者に係る制度の創設

- ① 観光庁長官の登録が必要
- ② 住宅宿泊仲介業の適正な遂行のための措置(宿泊者への契約内容の説明等)を義務付け
- ③ 観光庁長官は、住宅宿泊仲介業に係る監督を実施

○公布 平成29年6月16日 ○施行期日 公布日から1年以内



訪日インバウンドの急増に対応した通訳案内士法改正

○通訳ガイドの量的不足、ガイドニーズの多様化に対応した業務独占制の廃止等通訳案内士制度の大幅な見直し＜通訳案内士法の一部改正＞

【規制改革実施計画（平成28年6月2日閣議決定）関連】

＜現状・課題＞

- ①訪日外国人の急増している中で、地方部への訪問を増大させていくことが必要。
- ②現行の通訳案内士は大都市部に偏在、言語も英語に偏り。
- ③旅行者の興味関心は千差万別で通訳ガイドに対するニーズも多様化。（例：伝統文化を知りたい、着付け体験をしたい等）
- ④特区等における地域特例通訳案内士が増加。（平成28年6月時点：25地域1,376名）

【法案の内容】

＜通訳案内士の業務独占規制の廃止・ニーズ多様化への対応＞

- ①業務独占規制の廃止・名称独占規制の存続。
- ②地域ガイド特例を地域通訳案内士として全国展開。
- ③全国通訳案内士の試験科目の見直し（通訳案内の実務に係る科目の追加）。
- ④全国通訳案内士に対し定期研修受講の義務付け。

【法案以外の対応】

○無資格ガイドの質の向上

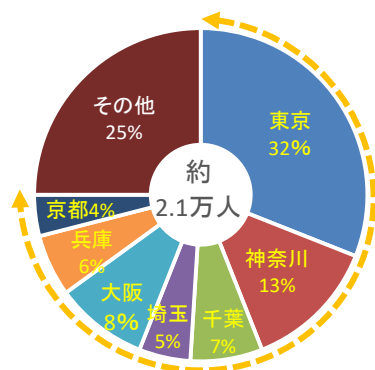
- ・無資格者に対しても、有資格者が受講する研修受講を呼びかけ。

○悪質ガイドの防止

- ・旅行業者、ランドオペレーターに対し、有資格者を優先的に手配するようガイドライン等を通じて指導。
- ・有資格者のデータベースを整備。無資格者にも参加を促し、利用者の評価で質の高い者から選ばれるような環境整備。
- ・悪質な手配を行う外国旅行業者については、各国観光当局に対し情報を提供し、各国法に基づく取締り・指導を要請。

大都市部への偏在

（4分の3は都市部）



英語への偏在

（3分の2は英語）

